

## よみがえり

### 再出発

人生じんせいにおいて再出発さいしゅつぱつするときが必要ひつようです。どんな時ときに再出発さいしゅつぱつしたいか考かんがえて、つぎの空くう白はくに書かいてください。

よみがえられたたイエスさま

いまから二千年にせんねんほどまえに、ナザレのイエスという人がいました。ナザレは、イスラエルという国くにの北きたのほうの町まちでした。

イスラエルは、ヨーロッパにある地ち中ちゆう海かいのいちばん東ひがしに面めんした国くにです。いまでも、イスラエルという国くにがありますが、だいたい同おなじ場ば所しょです。

このナザレのイエスという人ひとは、病人びやうにんをいやしたり、罪つみびととしてみんなから白しろい目めで見みられていた人ひとの友ともだちになったり、また、金持かねもちちや権力けんりよくのある人ひとを非難ひなんしていました。

かれの行動をよく思わなかったユダヤ人たちは、かれを十字架にかけて殺してしまいました。しかし、それですべてが終わらなかったのです。

イエスさまの弟子たちは、その後、人びとの前に出てきて、「神がイエスを三日目によみがえらせた」と言いだしました。そして、「イエスはキリストである」という信仰を人びとにといてまわりました。

こうして、キリスト教が誕生しましたが、いまから考えてみると、とてもふしぎなことですね。

イエスさまが十字架にかけられて殺されたときには、弟子たちは、みんなイエスさまも見捨てて逃げて

しまっていました。それなのに、しばらくすると、こんどは、人びとの前に出てきて、どうどうとイエスさまのことはなしはじめたのです。

弟子たちは、いったいどうしてあれだけの勇氣を持つことができたのでしょうか。また、あれだけ弟子たちの心をとらえていたナザレのイエスという人は、どんな人だったのでしょうか。

